

社会生活(選挙)

18歳になったら選挙に行こう

～選挙への関心を高める授業の工夫～

小出特別支援学校川西分校(高等部) 中沢 誠

ねらい・目標



○選挙の種類(国政選挙・地方選挙)や政治の役割を知る。

○選挙や投票に関心をもち、投票への意欲や行動に繋げるようにする。



単元・指導の工夫①

4つの視点から

①基本的
人権として

○参政権の意義や権利について
○選挙に行かない権利不履行の弊害について

②体験・学習
を生かす

○修学旅行で国会議事堂を見学
○実際に投票を済ませた生徒の体験、感想

③PR活動・
啓発活動

○ポスター、新聞等の教室掲示
○保護者へ協力依頼(個別懇談会・学校たより)

単元・指導の工夫②

④授業の中で

具体性

興味・関心

分かりやすさ

○役に立つ候補者の情報
○投票所の選挙手順、持ち物、投票所の確認

○国政、地方選挙の仕組みや役割について、共通点や違いの提示

○スライドや写真、イラスト、文字など多様な情報や提示の仕方

授業の様子



①参議院選挙に投票した生徒の体験、感想発表
○実際の場面の想定や投票の意義について理解の深まりが見られた。

②知事選の公示や立候補者について
○投票日や立候補者の名前を知っている生徒がいた。直前ということに関心がうかげた。

②国政選挙の種類、役割・地方選挙の種類、役割
●やや難しい内容であったため、理解度に差が見られた。一内容の要点化、簡潔化

提示情報

米山 隆一
(よねやま りゅういち)
47歳
新潟市出身
東京大学 医学部卒
医師・弁護士
無所属

立候補者

投票所

投票所入場券

投票手順

生徒の姿容

①参議院選の感想

○とても緊張した。選挙への関心が持てまた選挙に行きたい。

②国会議事堂見学後の感想

○選挙は自分達のためにも大事なものだと思った。
○国の代表を選ぶのでしっかり考えて投票しないとけない。

③授業前の感想

○仕事をし始めたら行くかどうか分からない。
○権利だから行きたい。
○自分達の世代の投票率が低く、少しでも日本のためになるように行くと思う。



成果と課題

3年生 在籍生徒8名
選挙時18歳になった生徒数

★授業後の感想

- 選挙に行く 6名
- きっと行く 2名
- 行かない 0名
- ・自分や国のため
- ・権利を無駄にしない
- ・自分で選びたい

実際の投票

7月10日
参議院選挙
1名中 投票1名(100%)

10月16日
新潟県知事選挙
4名中 投票4名(100%)

★選挙についての情報の理解は高いレベルが必要であり、障害の重い生徒への指導が難しい。
(発達段階に合わせた指導をどうするか…)